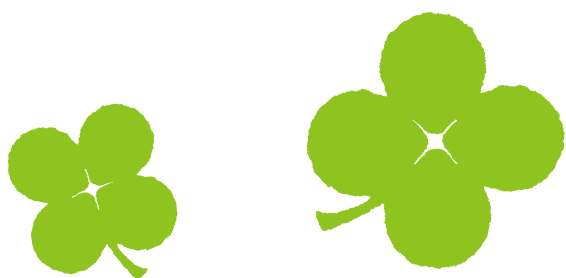
いわて県民計画

（2019～2028）

東日本大震災津波の経験に基づき、
引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

岩手県

計画の理念

この計画では、「いわて県民計画」の成果を引き継ぎつつ、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めていきます。

そのためには、県はもとより、県民、企業、NPO、市町村など、地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持って、共に支え合いながら、地方の暮らしや仕事など、岩手県の将来像を描き、その実現に向けて、みんなで行動していくことが大切です。

また、社会的に弱い立場にある方々が、地域や職場、家庭などでのつながりが薄れることによって孤立することのないように社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の観点に立った取組を進めることも重要です。

岩手は今（現状認識・展望）

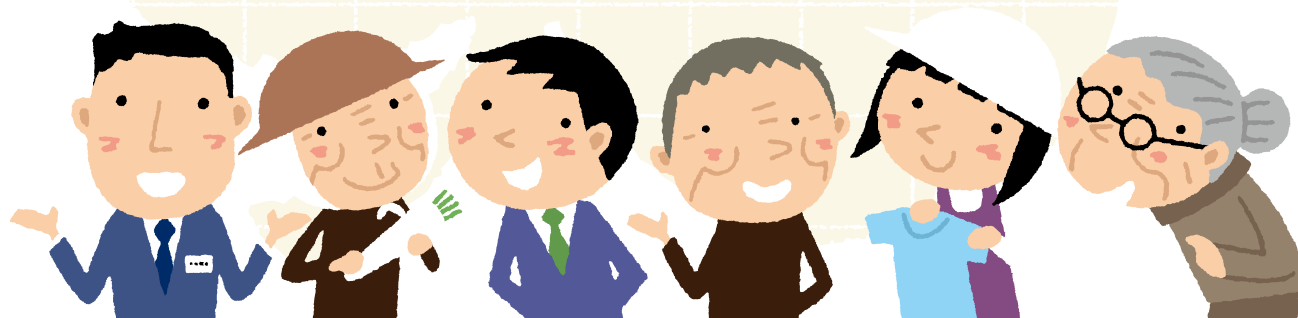
世界の変化と展望

- 経済・社会のグローバル化や第4次産業革命が進展しています。
- 地球温暖化が進行しています。
- 資源・エネルギー、食料の需要が急増しています。

日本の変化と展望

- 急速な人口減少と高齢化の進行は、社会保障制度や経済活動、社会生活などに様々な影響を及ぼしています。
- 「心の豊かさ」や「ゆとり」といった要素を重視する層が拡大しています。

岩手の変化と展望 ～復興、「強み・チャンス」と「弱み・リスク」～

- 岩手県の総人口は、自然減と社会減があいまって減少局面にあります。人口減少対策を進めていく上では、様々な「生きにくさ」を「生きやすさ」に転換していくことが重要です。
- 東日本大震災津波からの復興に引き続き取り組んでいく必要があります。また、日本そして世界の防災力の向上に貢献できるよう、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を伝承し、復興の姿を国内外に発信していくことが求められます。

基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、
引き続き復興に取り組みながら、
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

基本目標の考え方

- この計画は、東日本大震災津波からの復旧・復興の取組の中で、学び、培った経験を生かすものとします。
- この計画のもと、引き続き復興に取り組み、一日も早い安全の確保、暮らしの再建、なりわいの再生を目指すとともに、東日本大震災津波の教訓を未来に向けて伝承・発信していきます。
- また、復興の実践で培われた一人ひとりの幸福を守り育てる姿勢を復興のみならず、県政全般に広げ、県民相互に、さらには、岩手県と関わりのある人々がお互いに幸福を守り育てる岩手を実現します。
- そのような岩手が、全ての県民が希望を持つことのできる「希望郷いわて」になります。

復興推進の基本方向

三陸のより良い復興（Build Back Better）の実現に向けた取組を推進していきます。

「東日本大震災津波からの復興に向けた基本方針」に位置付けた2つの原則「被災者の人間らしい『暮らし』『学び』『仕事』を確保し、一人ひとりの幸福追求権を保障すること」、「犠牲者の故郷への思いを継承すること」を引き継ぎ、この計画に基づく政策の推進や地域振興の展開と連動しながら、取組を推進していきます。

「より良い復興～4本の柱～」と取組方向

1 安全の確保

津波により再び人命が失われることのないよう、多重防災型まちづくりや災害に強いライフラインの構築などにより、災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくりを推進します。

また、災害に強い交通ネットワークを構築し、住民の安全を確保します。

2 暮らしの再建

住宅や仕事の確保など、被災者一人ひとりの生活の再建を図ります。

また、医療・福祉・介護体制など生命と心身の健康を守るシステムや教育環境の再構築、地域コミュニティ活動への支援などにより、地域における生活の再建を図ります。

いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造

復興の推進に当たって重視する視点

1 参画 ～若者・女性などの参画による地域づくりを促進します～
2 交流 ～人やモノの交流の活発化による創造的な地域づくりを促進します～
3 連携 ～多様な主体が連携し、復興などの取組を推進します～

3 なりわいの再生

生産者や事業者が意欲と希望を持って生産・事業活動を行えるよう、生産体制の構築、金融面や制度面の支援などにより、農林水産業、商工業など地域産業の再生を図ります。

また、地域の特色を生かした商品やサービスの創出、高付加価値化や生産性向上などの取組を促進するほか、新たな交通ネットワークによる物流効果を生かして地域経済の活性化を図ります。

4 未来のための伝承・発信

日本を代表する震災津波学習拠点として東日本大震災津波伝承館を整備し、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を伝承し、その教訓を防災文化の中で培っていきます。

また、復興の姿を国内外に発信することにより、将来にわたり復興への理解を深めていきます。

政策推進の基本方向

「10の政策分野」のもと 一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していきます。

県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会を実現していくため、多様性の視点や社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の視点を重視しながら、地域社会を構成するあらゆる主体とともに、「10の政策分野」の取組を展開していきます。

❶健康・余暇	❷家族・子育て	❸教育	❹居住環境・コミュニティ	❺安全	❻仕事・収入	❼歴史・文化	❽自然環境
❾社会基盤							
❿参画							

1 健康・余暇

主要な指標　健康寿命、余暇時間

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

❶生涯にわたり心身ともに健やかに生活できる環境をつくります
❷必要に応じた医療を受けることができる体制を充実します
❸介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくります
❹幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます
❺生涯を通じて学び続けられる場をつくります

生涯を通じた心身の健康づくりを進め、地域の保健医療提供体制の充実や福祉コミュニティづくりなどにより、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、こころと体の健康を実感でき、また、文化芸術活動やスポーツ活動、学びの機会を充実することにより、余暇の充実を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

家族・子育て

主要な指標　合計特殊出生率、男性の家事時間割合、総実労働時間

家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手

❶安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
❷地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます
❸健全で、自立した青少年を育成します
❹仕事と生活を両立できる環境をつくります
❺動物のいのちを大切にする社会をつくります

従来の形に捉われない様々な家族の形態において、それぞれが大切な人とのつながりや支え合いを確保できる環境づくりを進めることにより、共につながり、支え合う良好な家族関係を実感でき、また、結婚や出産、子育てなどの環境づくりを進めることにより、家庭や地域で、子どものいきいきとした成長を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

教育

学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

主要な指標	意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合、自己肯定感を持つ児童生徒の割合、体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合、高卒者の県内就職率

❶【知育】児童生徒の確かな学力を育みます
❷【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます
❸【体育】児童生徒の健やかな体を育みます
❹共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます
❺いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります
❻児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます
❼多様なニーズに応じた特色ある私学教育を充実します
❽地域に貢献する人材を育てます
❾文化芸術・スポーツを担う人材を育てます
❿高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりを進めます

学校教育の充実や国際交流、文化・スポーツ、産業などの様々な分野での人づくりを進めることにより、将来を担う子どもたちの心豊かな学びや生きる力の高まりを実感でき、国内外や地域社会の様々な分野で活躍する人材が育っていると実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

居住環境・コミュニティ

不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結びつきの中で、助け合って暮らすことができる岩手

主要な指標	県外からの移住・定住者数、地縁的な活動への参加割合

❶快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります
❷地域の暮らしを支える公共交通を守ります
❸つながりや活力を感じられる地域コミュニティを守り育てます
❹岩手で暮らす魅力を高め、移住・定住を促進します
❺海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくりを進めます
❻文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります

居住環境の整備や日常生活に必要不可欠な交通手段の確保などにより、住まいの快適さや暮らしやすさを実感でき、また、多様な主体の連携や異なる文化、県内外の人的・経済的な交流などにより、暮らし続けたい、帰りたいと思える地域のつながりを実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

安全

主要な指標	自主防災組織の組織率、刑法犯認知件数、交通事故発生件数

災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手

❶自助、共助、公助による防災体制をつくります
❷事故や犯罪が少なく、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます
❸食の安全・安心を確保し、地域に根ざした食育を進めます
❹感染症による脅威から一人ひとりの暮らしを守ります

災害に対する十分な備えや、犯罪、交通事故が起こりにくい環境づくりに取り組むとともに、食の安全の確保や感染症の予防対策などを進めることにより、地域の安全や暮らしの安心を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

仕事・収入

農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手

主要な指標	一人当たり県民所得、正社員の有効求人倍率、総実労働時間［再掲］、高卒者の県内就職率［再掲］

❶ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります
❷地域経済を支える中小企業の振興を図ります
❸国際競争力が高く、地域の産業・雇用に好循環をもたらすものづくり産業を盛んに します
❹地域資源を生かした魅力ある産業を盛んにします
❺地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします
❻意欲と能力のある経営体を育成し、農林水産業の振興を図ります
❼収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります
❽農林水産物の付加価値を高め、販路を広げます
❾一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります

岩手県の地域経済を支える中小企業、地域経済をけん引する自動車や半導体関連産業をはじめとするものづくり産業、地域の特性や資源を活用した産業、幅広い分野に波及効果をもたらす観光産業、岩手県の基幹産業である農林水産業などの産業政策を総合的に展開し、一人ひとりの能力を発揮できる多様な雇用の確保を進めることにより、希望する仕事に就き、安心して働きながら、仕事のやりがいを実感でき、また、経済基盤の高度化や生産性の向上を図ることにより、必要な収入や所得が得られていると実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

7 歴史・文化

主要な指標　世界遺産等の来訪者数、国・県指定文化財件数

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

❶世界遺産の保存と活用を進めます
❷豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

世界遺産の保存と活用を進め、また、過去や現在から未来に引き継ぎたい地域の歴史や伝統文化を学び、受け継ぐことにより、岩手や地域への誇りや愛着を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

自然環境

一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手

主要な指標　岩手の代表的希少野生動植物の個体・つがい数、再生可能エネルギーによる電力自給率、自然公園の利用者数

❶多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます
❷循環型地域社会の形成を進めます
❸地球温暖化防止に向け、低炭素社会の形成を進めます

良好な自然環境の保全や循環型地域社会の形成、再生可能エネルギーの導入をはじめとする地球温暖化対策などを進めることにより、自然に恵まれていることを実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

社会基盤

主要な指標　河川整備率、緊急輸送道路の整備延長

防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手

❶科学・情報技術を活用できる基盤を強化します
❷安全・安心を支える社会資本を整備します
❸産業や観光振興の基盤となる社会資本を整備します
❹生活を支える社会資本を良好に維持管理し、次世代に引き継ぎます

社会経済活動や教育・研究の土台となる情報通信技術の活用、科学の振興、産業や暮らしを支える社会資本の整備など、8 つの政策分野を支える基盤の強化により、地域の魅力を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

参画

男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手

主要な指標　労働者総数に占める女性の割合、障がい者の雇用率、高齢者のボランティア活動比率、男性の家事時間割合［再掲］

❶性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります
❷幅広い市民活動や多様な主体による県民運動を促進します

男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などが活躍できる仕組みづくり、NPO や関係団体等の多様な主体による幅広い市民活動や県民運動の促進など、8 つの政策分野を支えるソフトパワーの強化により、地域の魅力を実感できる岩手の実現に向けた取組を展開します。

また、これらの取組の展開に当たっては、岩手県の魅力の国内外への情報発信や市町村との連携の推進などの視点も重要です。

主要な指標（いわて幸福関連指標・長期ビジョン版）

10の政策分野	指　標
（1）健康・余暇	①健康寿命 ②余暇時間
（2）家族・子育て	①合計特殊出生率 ②男性の家事時間割合 ③総実労働時間
（3）教育	①意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合 ②自己肯定感を持つ児童生徒の割合 ③体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合 ④高卒者の県内就職率
（4）居住環境・コミュニティ	①県外からの移住・定住者数 ②地縁的な活動への参加割合
（5）安全	①自主防災組織の組織率 ②刑法犯認知件数 ③交通事故発生件数
（6）仕事・収入	①一人当たり県民所得 ②正社員の有効求人倍率 ③総実労働時間［再掲］ ④高卒者の県内就職率［再掲］
（7）歴史・文化	①世界遺産等の来訪者数 ②国・県指定文化財件数
（8）自然環境	①岩手の代表的希少野生動植物の個体・つがい数 ②再生可能エネルギーによる電力自給率 ③自然公園の利用者数
（9）社会基盤	①河川整備率 ②緊急輸送道路の整備延長
（10）参画	①労働者総数に占める女性の割合 ②障がい者の雇用率 ③高齢者のボランティア活動比率 ④男性の家事時間割合［再掲］

SDGs（持続可能な開発目標）

SDGs（持続可能な開発目標）とは、発展途上国と先進国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標であり、平成27年（2015年）9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを基本方針としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17

SDGsに掲げる17のゴール

- 目標1　貧困をなくそう
- 目標2　飢餓をゼロに
- 目標3　すべての人に健康と福祉を
- 目標4　質の高い教育をみんなに
- 目標5　ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6　安全な水とトイレを世界中に
- 目標7　エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標8　働きがいも経済成長も
- 目標9　産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10　人や国の不平等をなくそう
- 目標11　住み続けられるまちづくりを
- 目標12　つくる責任 つかう責任
- 目標13　気候変動に具体的な対策を
- 目標14　海の豊かさを守ろう
- 目標15　陸の豊かさも守ろう
- 目標16　平和と公正をすべての人に
- 目標17　パートナーシップで目標を達成しよう

【参照】　持続可能な開発のための2030アジェンダ（国際連合広報センター）
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

SDGsが掲げる「誰一人として取り残さない」という基本方針は、いわて県民計画（2019～2028）における、幸福を守り育てようとする考え方と相通じるものです。

本県も、計画の推進・取組の展開を通して、次世代にも幸福を引き継いでいけるよう、持続可能な社会の構築に取り組んでいくこととしています。

新しい時代を切り拓くプロジェクト

新しい時代を切り拓く11のプロジェクトを掲げ戦略的、積極的に推進していきます。

10年後の将来像の実現をより確かなものとし、さらに、その先を見据え、長期的視点に立ち、岩手らしさを生かした新たな価値・サービスの創造などの先導的な取組を進めていきます。

＼新しい時代を切り拓くプロジェクト／

ILC プロジェクト

国際リニアコライダー（ILC）の実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積されることから、イノベーションを創出する環境の整備などを進めることにより、知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

北上川バレープロジェクト

県央広域振興圏と県南広域振興圏にまたがる北上川流域において自動車や半導体関連産業を中心とした産業集積が進み、新たな雇用の創出が見込まれることを生かし、両振興圏の広域的な連携の更なる促進や、第４次産業革命技術のあらゆる産業分野、生活分野への導入などを通じて、働きやすく、暮らしやすい、21 世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く先行モデルとなるゾーンの創造を目指します。

また、本プロジェクトの成果が速やかに他地域に波及していくとともに、広く県民がその生活利便性を享受することによって、県民全体の暮らしが豊かになることを目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

三陸防災復興ゾーンプロジェクト

東日本大震災津波からの復興の取組により大きく進展したまちづくりや交通ネットワーク、港湾機能などを生かした地域産業の振興を図るとともに、三陸防災復興プロジェクト 2019 等を契機として生み出される効果を持続し、三陸地域の多様な魅力を発信して国内外との交流を活発化することにより、岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

豊かな地域資源と高速道路や新幹線などの高速交通網の進展を生かし、地域の特徴的な産業の振興や、圏域を越えた広域連携による交流人口の拡大、豊富な再生可能エネルギー資源の産業分野・生活分野での利用促進など、県北圏域をはじめとする北いわての持つポテンシャルを最大限に発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進することで、あらゆる世代がいきいきと暮らし、持続的に発展する先進的なゾーンの創造を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

活力ある小集落実現プロジェクト

人口減少と少子高齢化の急速な進行は、地域の社会経済に様々な影響を与えることが懸念されており、こうした中、人や地域のつながりが大切にされている岩手県の風土を土台としながら、第４次産業革命技術や遊休資産を生かした生活サービスの提供、人材・収入の確保、都市部との交流の促進など、地域の課題解決に向けた住民主体の取組の促進を通じて、将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

農林水産業高度化推進プロジェクト

岩手県の強みである広大な農地、多様な森林資源、豊富な漁場を背景に、情報通信技術（ICT）やロボット等の最先端技術を最大限に活用した生産現場のイノベーションによる飛躍的な生産性の向上、農林水産物の新たな価値の創出等の取組を通じて、農林水産業の高度化を推進し、収益性の高い農林水産業の実現を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

健幸（けんこう）づくりプロジェクト

県立病院・大学等で保有する医療データや健診機関で保有する健診データ等を生かし、健康・医療・介護データを連結するビッグデータの連携基盤を構築し、その活用を通じて、健康寿命が長くいきいきと暮らすことのできる社会の実現を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

学びの改革プロジェクト

　人工知能（AI）をはじめとする第４次産業革命技術を活用し、就学前から高校教育までの質が高く切れ目のない教育環境の構築を通じて、新たな社会を創造し、岩手県の未来をけん引する人材の育成を目指します。

＼ 新 し い 時 代 を 切 り 拓 く プ ロ ジ ェ ク ト ／

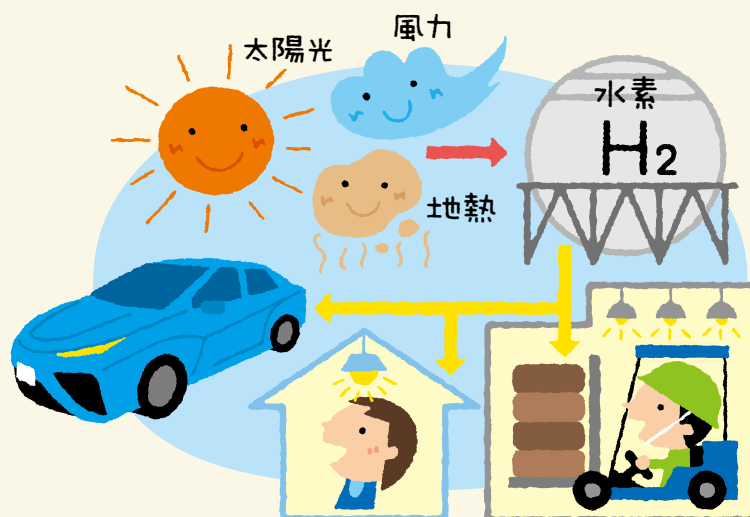
文化・スポーツレガシープロジェクト

　岩手県が誇る世界遺産や多彩な民俗芸能、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の成果や三陸防災復興プロジェクト2019、ラグビーワールドカップ2019™釜石開催、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じた文化芸術・スポーツへの関心の高まりをレガシーとして次の世代につなげていくため、官民一体による推進体制の構築などにより、県内各地の特色や得意分野を生かした魅力ある文化芸術・スポーツのまちづくりを進め、県民が日常的に文化芸術やスポーツに親しみ、楽しみ、そして潤う豊かな社会の実現を目指します。

＼ 新しい時代を切り拓くプロジェクト ／

水素利活用推進プロジェクト

　東日本大震災津波を契機とした再生可能エネルギー導入促進の動きを背景に、岩手県の豊富な再生可能エネルギー資源を最大限に生かし、再生可能エネルギー由来の水素を多様なエネルギー源の一つとして利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会の実現を目指します。

＼ 新しい時代を切り拓くプロジェクト ／

人交密度向上プロジェクト

　東日本大震災津波の復興支援を契機とした、国内外からの震災復興支援者やボランティアの方々に加え、今後、国際リニアコライダー（ILC）実現などにより世界各国から研究者等が訪れるなど、多様な主体との交流の機会が増加することが想定されます。

　このため、第４次産業革命技術を活用して、岩手県の地域や人々と多様に関わる「関係人口」の質的・量的な拡大を図り、これらを通じて世界中がいつでも、どこでも岩手県とつながる社会を実現し、関係人口の継続的かつ重層的なネットワーク形成などによる「人交密度」の向上を目指します。

地域振興の展開方向

住民に身近なサービスは、市町村が担うことを基本としつつ、より広域的な視点から、4広域振興圏の振興を進めるとともに、県民一人ひとりの幸福を守り育て、持続可能な地域社会を築いていくため、各地域の特性を十分に踏まえた取組を進めていきます。

県央広域振興圏

【目指す姿】

県都を擁する圏域として、産業・人・暮らしの新たなつながりを生み出す連携の深化により求心力を高め、東北の拠点としての機能を担っている地域

❶圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域

❷IT 産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域

県南広域振興圏

【目指す姿】

人とのつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

❶多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域

❷世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域

❸世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域

❹米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域

八幡平市
滝沢市
雫石町
矢巾町
紫波町
花巻市
西和賀町
北上市
金ケ崎町
奥州市
平泉町
一関市

二戸市
軽米町
洋野町
九戸村
一戸町
久慈市
野田村
葛巻町
普代村
岩手町
田野畑村
岩泉町
盛岡市
宮古市
山田町
大槌町
遠野市
釜石市

県北広域振興圏

【目指す姿】

多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域

❶隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域
❷自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域
❸誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域

沿岸広域振興圏

【目指す姿】

東日本大震災津波からの復興を着実に進め、その教訓を発信し、新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かした新しい三陸の創造により、国内外に開かれた交流拠点として岩手の魅力を高め、広げていく地域

❶復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域
❷地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域
❸豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域

行政経営の基本姿勢

県は地域を担う主体の一つとして、推進力となる人と人、人と地域資源をつなぎ、県民一人ひとりが主役の地域づくりを支え、岩手全体の底力を高め、地域の力が最大限発揮されるよう県民とともに歩む行政を目指していきます。

また、復興の過程で学び、培った経験をもとに、県民一人ひとり、そして社会としてお互いに幸福を守り育てるとともに、広く県外に向けて誇れる岩手の実現を目指し、行政経営の質の向上に取り組みます。

以上の認識のもと、県民の信頼に応える、より質の高い行政経営を進め、この計画に掲げた政策の実効性を高め、東日本大震災津波からの復興と「希望郷いわて」の実現に貢献していきます。

県内外の様々な主体と協働し、岩手県民が相互に幸福を守り育てるとともに、広く県外に向けて幸福を守り育てる機会を提供することができる岩手の実現

「4本の柱」と取組方向

	柱	取組方向
1	地域意識に根ざした県民本位の行政経営の推進	❶多様な主体とのつながりを形成します ❷市町村との連携・協働を推進します ❸地方分権や県外自治体との連携を推進します ❹海外とのつながりを形成します
2	高度な行政経営を支える職員の能力向上	❶開かれた県行政を担う職員を確保・育成します ❷職員の能力開発を促進します
3	効率的な業務遂行やワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境の実現	❶効率的で柔軟な働き方を推進します ❷明るく、いきいきとした職場環境づくりを推進します
4	戦略的で実効性のあるマネジメント改革の推進	❶県民サービスの質の向上につながる提供システムを充実します ❷多様なニーズに応える公営企業や県出資等法人の健全経営を推進します ❸県民本位の行政経営を推進する組織体制を整備します ❹効果的で効率的な業務遂行体制を支えるリスクマネジメントを構築します ❺政策の着実な推進を支える持続可能な財政構造を構築します

詳しくご覧になりたい方はこちらから!

https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/suishin/1018014/index.html

いわて県民計画（2019～2028）